



知基第31号
令和3年4月28日

南西航空方面隊司令官
空将 尾崎 義典 殿

沖縄県知事 玉城 デニ



航空自衛隊那覇基地におけるPFOSを含む泡消火薬剤漏出事故
について（要請）

令和3年2月26日、航空自衛隊那覇基地において、燃料保管施設に付設された消火配管から泡消火薬剤が漏出し、泡消火薬剤から発生した泡の一部が基地外へ飛散する事故が発生しました。

航空自衛隊那覇基地においては、当初、泡消火薬剤にPFOSは含有しておらず、毒性又は損傷性はほとんどないとしておりましたが、去る4月7日に公表された同那覇基地の調査結果において、基地外に飛散した泡消火薬剤にPFOSが含有していたことが判明しました。

県においては、航空自衛隊那覇基地に対して、PFOS含有の有無など随時情報提供を求めていたところ、飛散した泡消火薬剤にPFOSが含有していたことは、県内でPFOS等に対する不安が広がっている中、県民に大きな不安を与えるものであります。また、当初、泡消火薬剤にPFOSは含まれないと十分な確認がないまま発表していたことについては、周辺住民に混乱を生じさせるものであることから、決してあってはならず、大変遺憾であります。

については、下記の事項について、要請します。

記

- 1 事故原因の究明、諸調査に関する結果等の迅速かつ正確な共有関係、実効性のある再発防止策の徹底及び汚染事故発生時の除去体制の構築
- 2 地域住民への適切な説明や不安の解消、基地内水路の定期的なモニタリング等、水質汚濁防止法に基づく権限を有する那覇市が要請した内容の着実な実施
- 3 PFOS等を含まない泡消火薬剤への早期の切り替え